



ティーエスケイ情報システム 株式会社

事業内容

情報通信機器の販売、システム開発・運用、ハード保守等

創業 平成10(1998)年2月4日
 代表者 代表取締役社長 舟木 透
 社員数 51名(男38名 女13名)
 本社 島根県松江市学園南2-10-14
 電話 0852-27-6061

採用エリア

松江市、出雲市、江津市、浜田市、広島県

採用担当者からあなたへ

当社では若手社員が活躍できるフィールドが多く、理系出身者だけでなく文系出身の社員や、入社前は全く知識のなかった社員も多く活躍しています。この地域に貢献できるような仕事がしたい方、県内産業のIT化を推進していきたい方と一緒に働けるのを楽しみにしています!



経営企画室
春日 尚子さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0852-27-6061

採用直通 E-mail

tskis_recruit@tskis.co.jp

公式サイトはこちら



コミュニケーション通じ、業務効率化を提案

広島からのUターンを機に転職。ITはどの業界でも必須で、さまざまなお客様と接することができるのが魅力です。各業界の専門知識の取得は大変ですが、その分視野も広がります。相手の思いや背景を意識したコミュニケーションで、業務効率化の糸口をつかめることも。より動きやすい環境整備を提案していきたいです。



営業部第一セールス課
川原 広大さん(26)
2022年入社

デジタル化で、先生と子どもの笑顔を増やす

雲南市内の小中学校をメインに担当。授業で使う各種デジタルコンテンツなどの導入や更新支援を行っています。現場の先生方はいつも忙しい。デジタルの力を生かした効率化で、子どもたちと接する時間を増やすお手伝いができれば。業務の合間にはWEBセミナーなどを活用して自身のレベルアップを図っています。



営業部第一セールス課
加納 朋実さん(23)
2022年入社

学校現場で先生たちをサポート

高専時代に学んだ、プログラミングやネットワーク技術などの知識を生かせれば、と当社を選びました。小中学校の現場でパソコンやタブレットの設定をしたり、問い合わせにリモートで対応したりしています。機器がうまく作動せず、困っている先生方には、できる限り専門用語を使わず、分かりやすい対応を心がけています。



システム部ITインフラ課
春日 雄太さん(24)
2022年入社

短時間勤務活用し、子育てと両立

約1年半の産休・育休を経て今春復帰。9時から16時までの短時間勤務制度を活用し、子育てと仕事の両立に努めています。顧客への請求書送付や経理事務など事務全般を担当。取引先は圧倒的に官公庁が多いですが、金融や福祉など幅広く、業務の多様さを事務方としても実感します。若い社員が多いからか、社内が明るいですね。



経営企画室
高橋 悠子さん(31)
2019年入社



ティーエスケイ情報システム 株式会社

変化に対応し、挑戦し続ける
地域DXを支えるプロ集団

04
LEADING COMPANY

フレキシブルな対応で
企業や教育現場を支援

クラウドやスマートフォンの普及に加え、人工知能が新たな可能性を次々と生み出し、加速度的に変化する現代社会。コロナ禍でデジタル化の流れは一層高まり、システム開発・運用などのソフト事業から、情報通信機器の販売保守管理などのハード事業まで、トータルサポートする「アイエスケイ情報システム株式会社」の社員は、県内各地を走り回る。同社の2023年度の活動テーマは「Change & Challenge」。

「今後、パンデミックや紛争の影響でさまざまな変革が起き、デジタル化やDXは一気に加速する。変化に対応し、新たなことに挑戦し続けるプロ意識を持つ重要性が増すとともに、良質なコミュニケーションで地域との信頼を積み上げていくことが求められる」と舟木透社長(55)は強調する。

売上げの約7割を自治体向けが占め、中でも文教分野に強い。教育現場の声を丁寧に拾い上げて開発した統合型校務支援システム(「スマート校務」)は、県内約100校に導入され、豊富なラインナップとクラウドアプリ連携によって教職員の業務負担を大幅に軽減させている。しか

し、時代の先を見る舟木社長は危機感を露わにする。「A-1の台頭やアプリケーションの標準化、規格化が進む中、従来通りの仕事のやり方では顧客満足につながらない。新しい技術や情報を常に取り入れ、フレキシブルに対応する力が我々には求められている」

変化への対応力はどうのように養っていくのか。舟木社長がまず重視するのが、社員の幸せだ。「社員やその家族が幸せであって初めて、顧客の幸せや地域の幸せを考えることができる。自己犠牲では誰も幸せにできない」。その経営理念を社内に浸透させる狙いもあって、今春社長室を廃止。社員と同じフロアにデスクを配し、働く環境の整備も推し進める。島根で生まれ育った会社ゆえに、地域を支えようとする思いはひと際強い。教育現場においては、デジタルコンテンツの導入やネット環境の向上などを推進し、教育の最適化を実現。電子帳簿保存法やインボイス制度の対応に悩む地元中小企業の支援にも力を注ぐ。「目の前の顧客の声を耳を傾ける。デジタルの主治医として、地域のデジタルトランスフォーメーションを進めていきたい。地域の人をデジタルの力で笑顔にするのが私たちのミッションです」